

令和6年度公益財団法人尼崎地域産業活性化機構事業報告書 (事業年度: 令和6年4月1日～令和7年3月31日)

令和6年度は、第7次中期計画(令和6年度から令和10年度)の初年度にあたり、基本方針に則り事業を進めてまいりました。特にイノベーションエコシステムを構築するため、尼崎市・尼崎商工会議所・近畿高エネルギー加工技術研究所・尼崎信用金庫と連携しオープンイノベーションコア尼崎を設置しました。

また、物価上昇や電気料金の値上げ等各種コストが上昇し厳しい状況が続いておりますが、宅配便の取次の開始や貸室料金の改定等により売上が、昨年度よりも増加しました。

今後も引き続き、当財団のプレゼンス(存在価値)の向上を図るとともに、安定した財務体制を構築するため、更なる収益力の強化に努めてまいります。

I 事業のまとめ

1 調査研究事業について

尼崎市内における事業所の実態を把握し、中小企業・小規模企業の経営者及び従業員にとって望ましい環境の整備に向け、基礎自治体としてとるべき効果的な施策構築に資する資料とすることを目的に、「事業所景況調査」などを実施しました。「尼崎の産業振興に関する基礎調査」として、統計資料の分析、製造業のあり方検討会議の開催等を行ったほか、「労働環境実態調査」なども実施しました。また、市内でイノベーションエコシステムを構築する上で、大学や研究機関と市内企業との連携を促進するため、その基礎資料とするべく、「大学及び高等専門学校の産学官連携に関わる意向調査」を実施しました。

2 産業振興事業について

中小企業の活性化及び経営の安定化を図るため、関係機関と連携しながら特許、情報化、販路拡大などに関する相談を実施するとともに、大学等との連携による技術力の向上や経営革新、市内で新たに創業する事業者や第二創業・事業承継(M&A)を目的とした事業承継の支援を実施しました。また、ものづくりスタートアップ発掘の支援拠点として「オープンイノベーションコア尼崎(OIC)」をAMPI内に設置し、当機構が事務局として運営しました。

3 尼崎市中小企業センター管理運営事業について

安全・安心・快適な施設とするとともに利用者ニーズに対応するため、設備や管理ノウハウ、サービス等の改善と向上に努めるとともに、柔軟な施設運営を行いました。

利用実績として一時貸室では、昨年度と比べ利用金額は31,151千円(R5年度は30,433千円)で昨年度と比較して2%増となりました。それに付随して器具は5,998千円(R5年度は4,456千円)と34%の増となり駐車場利用等の売上も増加しました。

4 尼崎市中小企業勤労者福祉共催事業について

直営窓口におけるサービスに加え、外部の福利サービス提供事業者との連携を活かし、サービスの向上に努めました。

なお、期末の会員事業所数、会員数は令和5年度に比べ減少し、586社、6,234人となりました。

II 事業の詳細

1 評議員会

(1) 定時

ア 開催日 6月24日

イ 議案

- ・第1号議案 令和5年度決算について
- ・第2号議案 評議員の選任について
- ・第3号議案 役員の選任について
- ・報告事項1 令和5年度事業報告について

(2) 臨時

ア 決議があった日 8月16日

イ 議案

- ・第1号議案 評議員の選任について

(3) 臨時

ア 決議があった日 4月1日

イ 議案

- ・第1号議案 評議員の選任について

2 理事会

(1) 定例

ア 開催日 5月28日

イ 議案

- ・第1号議案 令和5年度事業報告について
- ・第2号議案 令和5年度決算について
- ・第3号議案 令和6年度定時評議員会の開催について

(2) 臨時

ア 決議があった日 6月24日

イ 議案

- ・第1号議案 理事長の選任について

(3) 臨時

ア 決議があった日 8月2日

イ 議案

- ・第1号議案 臨時評議員会の決議の省略についての決定の件について
- ・第2号議案 臨時評議員会の決議事項について

(4) 臨時

ア 決議があった日 12月31日

イ 議案

- ・第1号議案 給与規定の一部改正について

(5) 定例

ア 開催日 3月18日

イ 議案

- ・第1号議案 事務局規定の一部改正について
- ・第2号議案 就業に関する規程の一部改正について
- ・第3号議案 給与規定の一部改正について
- ・第4号議案 資産運用計画について
- ・第5号議案 令和7年度事業計画について

- ・第6号議案 令和7年度収支予算について
- ・第7号議案 臨時評議員会の決議の省略についての決定について

(6) 臨時

ア 決議があった日 3月25日

イ 議案

- ・第1号議案 臨時評議員会の決議の省略についての決定について
- ・第2号議案 理事の選任について

3 AG6(「ECO未来都市・尼崎」宣言団体)間の連携

尼崎商工会議所、尼崎経営者協会、(協)尼崎工業会、尼崎信用金庫及び尼崎市と共同で宣言した「ECO未来都市・尼崎」宣言に基づく事業として、地域一体型オープンファクトリーを実施し、SDGsや脱炭素経営にチャレンジする市内企業の魅力発信と地域産業の活性化を図りました。

- (1) 事務方会議開催回数 2回
- (2) モノづくりパビリオン実行委員会 3回
- (3) あまがさきエリア モノづくりパビリオンの実施 1回

テーマ:つながろう

～SDGsにチャレンジする尼崎の企業の魅力に触れてみよう!～

ア ワークショップ・展示 in つかしん

(ア) 開催日:1月18日・19日11:00～17:00

(イ) 開催場所:「グンゼタウンセンターつかしん」ひがしまち 1F ロマンチック広場

(ウ) 参加企業:12社

(エ) 来場人数:約3,900人(2日間)

イ オープンファクトリー

(ア) 開催日:1月31日・2月1日

(イ) 参加企業:12社(1日目見学企業8コース、2日目見学企業4コース)

(ウ) 参加人数:約200人

4 調査研究事業

都市問題や産業問題の解決に向けた調査研究を充実し、産業の振興施策などに結びつける実践的な調査研究を行いました。

- (1) 地域データ及び関連情報の収集・分析事業

尼崎市に関する基礎データを、関連機関との連携等により収集し、独自の分析を加えつつ広く発信しました。また、収集・分析した情報のさらなる活用を図るため、情報の蓄積を継続して行いました。

ア 尼崎の産業振興に関する基礎研究

尼崎の産業振興に関連する研究会、事業への参画を通じて、他機関との連携を深め、情報収集に努めました。

(ア)「尼崎経済ガイドブック・データブック(令和6年度版)」執筆・編集

① 尼崎経済ガイドブック

広く市内外に尼崎経済の旬な話題や尼崎市の経済対策を知ってもらうきっかけとなるように、毎年尼崎市とともに「尼崎経済ガイドブック」を発行しています。

【コンテンツ】

・ゼロカーボンベースボールパーク

- ・イノベーション創出に向けて(オープンイノベーションコア尼崎開設)
- ・あまがさきエリア モノづくりパビリオン
- ・育てる、食べる都市産業
- ・雇用、キャリア形成の支援
- ・あまがさきで学ぶ～総合学習プログラムの提供～
- ・まちの魅力をさぐる、生み出す
- ・落第忍者乱太郎とのコラボレーション
- ・メイドインアマガサキ全国へ、大阪関西万博へ向けて
- ・令和7年(2025年)度の主要事業

② 尼崎経済データブック

尼崎経済の産業構造や企業の景況感、雇用就労実態について整理・分析をした「尼崎経済データブック」を発行しています。

【コンテンツ】

○ 産業データ

- ・事業所の動向
- ・産業別の事業所の動向
- ・尼崎市の事業所の景気動向

○ 雇用就労データ

- ・労働力人口の推移
- ・尼崎市の求人動向
- ・尼崎市内高校卒業者等の就職動向
- ・尼崎市の雇用就労の動向

(イ) 製造業のあり方検討会議の運営

中小企業の経営基盤の確立に向け、これからの企業に求められる人材育成として、リスクリング推進に資する取組の方向性等について、議論し新たな展望を導くとともに効果的な施策の企画立案等につなげることを目的に検討会を開催し、関係者と意見交換等を行いました。

① 第1回

- ・開催日時:8月1日 15:00～17:00
- ・開催場所:尼崎市中小企業センター405会議室
- ・議題等

○ ゲストスピーカーによる講演

近畿経済産業局 地域経済部 地域経済課長 大平 昌幸氏

『企業成長に向けた人材戦略の構築と人材教育』

○ 意見交換

- ・参加者:14名

② 第2回

- ・開催日時:11月1日 13:00～15:00
- ・開催場所:尼崎市中小企業センター405会議室
- ・議題等

○ ゲストスピーカーによる講演1

株式会社商工組合中央金庫

DE&I推進部参事役人づくり支援室

室長 村岡 秀寿 氏

『商工中金の人的資本経営と人づくり』

○ ゲストスピーカーによる講演2

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

兵庫支部兵庫職業能力開発促進センター

ポリテクセンター兵庫 訓練第二課長 乾 勝典氏

○ 意見交換

・ 参加者:14名

(ウ) 市内事業所の人材育成およびリスキリングに関する意識調査(受託)

市内事業所の人材育成・リスキリング(学び直し)等の取組の推進について検討するための基礎資料とするため、市内企業を対象にリスキリングに関する意向について調査しました。

① 時期:令和6年10月

② 対象:市内の従業者10人以上の全事業所

1,500件(総務省「事業所母集団データベース」から抽出)

③ 方法:郵送によるアンケート調査(回収はWEB、E-mail、郵送等による)

④ 内容:事業概要、経営者の属性、人材確保・育成の取組、行政に期待する支援、など

5 情報の収集・提供事業

地域や産業の振興に資する情報の積極的な調査・発掘に努めるとともに、様々なネットワークを活用して情報を収集し広く提供しました。

(1) 優良企業発掘発信事業

市内事業所との繋がりを強化するとともに、特徴のある製品・商品・サービス等を保有する企業・商店や観光資源等の情報を発掘し、継続的なネットワークを構築するとともに、中小企業センターアイル1階ロビーの産業製品展示コーナー「ギャラリーアイル」にてこれらの情報を発信しました。

ア アナバナランチサーチ

市内の飲食店の魅力を独自の視点で取材し、発信しました。

訪問件数 19件

イ あまのこのひと

訪問件数 4社

ウ 産業製品展示コーナー「ギャラリーアイル」

(ア) 1階ロビーの展示ショーケースの活用し、市内企業の産業製品を広く紹介し、受注の促進を図りました。

(イ) 展示企業数 15社

(ウ) 展示場所 1階ロビー

エ 市内企業のもつ高い技術力を広く周知することを目的に、令和6年度ものづくり達人顕彰受賞者を輩出した事業所を「尼崎優良技術企業」と選定し、顕彰プレートを作成・贈呈しました。

事業所数 4社

(2) 尼崎市産業団体連携事業

市内の行政及び産業団体で構成する連絡協議会を開催し、各団体による支援事

業の情報共有や実施事業の調整・決定などを行いました。

(3) 情報発信事業

ホームページやフェイスブック等を活用し、事業者等に役立つ情報、魅力ある飲食店・人材など市内企業等の情報を広域的に発信しました。

ア あまがさき産業フェアへの出展

尼崎地域産業活性化機構の事業紹介、尼崎市中小企業センターの紹介をしました。

(ア) 開催日時 11月21日 10:00～17:00、22日 10:00～16:00

(イ) 開催場所 ベイコム総合体育館(尼崎市記念公園)

イ ホームページ

新規情報を随時更新しました。

ウ フェイスブック

活動内容や市内事業所の情報をフェイスブックで発信しました。

6 中小企業支援事業

中小企業の活性化及び経営の安定化を図るため、関係機関と連携しながら融資・特許・情報化・海外取引・販路拡大などに関する相談を充実するとともに、大学等との連携による技術力の向上や経営革新等の取り組みの支援を行いました。併せて、ものづくりスタートアップ発掘の支援拠点としてオープンイノベーションコア尼崎を設置し、当機構が運営しました。また、市内で新たに創業する事業者や第二創業・事業承継(M&A)を目的とした事業承継の支援をしました。

(1) BiZ-MiKS事業(補助)

起業・経営・販路(マッチング支援等)・事業承継・人材育成等ビジネスに関する様々な問題を整理・解決するため、経済環境の変化による様々な経営課題の解決と新たな事業を創造し、市内事業者及び小売市場・商店街及び小売商店等の経営改善を専門家や専門機関と連携しながら支援を行いました。

ア 特許相談

(ア) 開催回数 定期相談会4回(各月第4火曜日:予約制)

(イ) 相談件数 3件

イ 創業系相談

相談件数 115件

ウ 工業系相談

相談件数 9件

エ 商業系相談

相談件数 125件

オ 金融相談

(ア) 窓口相談件数 416件

(イ) 電話相談件数 78件

カ よろず支援拠点

相談件数 42件

(2) 創業者支援事業(補助・受託)

起業プラザひょうご尼崎・尼崎創業支援オフィス アビーズの運営を通じて、創業気運の醸成や創業段階の事業者に対する支援を行うとともに、尼崎市で、「ものづくりスタートアップ発掘・支援拠点(オープンイノベーションコア尼崎)」の設置(AMPI)及び「リスクリング事業を推進」することに伴い、アビーズを創業と学びの交流拠点とし、ス

タートアップ発掘・支援拠点並びにリスキリング事業運営業務を「Grow Action Point」と称し、新たにリスキリング、リカレント教育の推進を行いました。

ア ニ崎創業支援オフィス「アビーズ」の運営

利用者 8人(延べ84人・団体(うち76人が卒業等により退去))

イ 起業プラザひょうご尼崎の運営

利用者 8人(延べ18人・団体(うち10人が卒業等により退去))

ウ 一体運営による相談件数

292件(うち利用者相談108件、一般相談115件、その他69件)

エ イベント(各種セミナー・交流会・相談会等)の開催 実施37回

(ア) レセプションマルシェ(学生対象イベント) 実施2回

若年層(特に学生)を対象に、創業への関心を喚起し、将来的な起業促進につなげることを目的とした新イベント「レセプションマルシェ」を開催しました。

① 開催日時:1回目 11月28日 18:00~20:00

2回目 3月10日 18:30~19:30

② 開催場所:アビーズ

③ 参加人数:延べ24人(高校生6名、専門学生3名、大学生15名)

(イ) 定期イベント(セミナー・講座・ワークショップ等) 実施10回

新規利用者の獲得、スキルアップ支援、コミュニティの形成を目的に実施しました。

① 開催日時:7月26日、8月21日、9月10日、10月30日、11月22日、

11月26日、12月12日、1月22日、2月19日、3月4日

② 開催場所:アビーズ

③ 参加人数:延べ98人

(ウ) ランチ交流会 実施11回

新規利用者の獲得とコミュニティ形成を目指し、異業種の参加者同士が交流できるランチ交流会を実施し、ビジネスチャンスの拡大を図りました。

① 開催日時:4月26日、5月23日、7月11日、8月28日、9月18日、

10月16日、11月12日、12月19日、1月15日、

2月13日、3月13日

② 開催場所:アビーズ

③ 参加人数:延べ89人

(エ) 「総合的な探究の時間」事業 起業ゼミ(中小機構と連携) 実施4回

起業家に求められるマインドや資質の育成に取り組む高等学校を対象に、中小機構と連携し、専門性やリソースを活かした質の高い支援を提供しました。

① 開催日時:7月1日、10月7日、18日、11月25日

② 開催場所:武庫荘総合高等学校

③ 参加人数:延べ45人

(オ) 高校生向けビジネススクール2024

(次世代の産業人材育成事業実行委員会と連携) 実施3回

高校生を対象に、アントレプレナーシップの醸成を目的とした講座を次世代の産業人材育成事業との連携で実施しました。

① 開催日時:7月19日、7月26日、8月20日

② 開催場所:尼崎商工会議所

③ 参加人数:延べ42人

(カ) 関西国際大学インターンシッププログラム(株)ATOMica と連携)

尼崎コワーキングオフィスにおけるコミュニティーマネージャーの実務を通して、マーケティング施策の発想から提案までを体験するプログラムを実施しました。

- ① 開催日時: 9月17日～20日 4日間
- ② 開催場所: アビーズ
- ③ 参加人数: 5名

(キ) 起業プラザひょうご3拠点合同 MEET UP!!(KiP 神戸、姫路、尼崎 連携)

KiP3拠点(神戸、姫路、尼崎)が連携し、起業や新規事業に挑戦する方々がつながる MEET UP イベントを開催しました。各拠点の会員がピッチを行い、参加者同士の交流を深めるとともに、拠点を越えた協力関係の強化を図りました。

- ① 開催日時: 2月28日 16:00～19:00
- ② 開催場所: 起業プラザひょうご(神戸)
- ③ 参加人数: 28名

(ク) 女性相談会 inトレピエ 実施5回

女性をターゲットにした起業相談会を実施し、起業に関する実践的なアドバイスやビジネスアイデアのブラッシュアップをサポートしました。

- ① 開催日時: 6月11日、8月6日、11月12日、12月10日、2月18日
- ② 開催場所: 尼崎市女性センター・トレピエ
- ③ 参加人数: 延べ12人

オ 施設に関わる実施事業

(ア) 情報発信

1月に「尼崎創業ベース」サイトを新たに開設し、「KiP尼崎」および「アビーズ」の各サイトもリニューアルを実施しました。また、規則改定に伴う料金変更にあわせて、施設パンフレットを携帯しやすい三つ折り形式に刷新しました。さらに、Instagramでの情報発信にも注力した結果、フォロワー数は約2倍に増加し、200名から434名となりました。加えて、尼崎商工会議所や尼崎信用金庫が主催する創業塾において施設のPRを行い、認知度向上にも努めました。

(イ) KnotPLACE登録制度導入(登録者数171名)

6月下旬より、ATOMica開発のLINE登録型「KnotPLACE」を導入。顧客管理や集客機能を活用し、登録者を増加させ、月会員の獲得とコミュニティ形成を実現しました。

(ウ) 県職員のサードプレイス・トライアルの実施(利用者331名)

県職員のサードプレイス活用のトライアル実施勤務場所として、一体運営している「尼崎創業支援オフィスアビーズ」のコワーキングスペースを、7月15日～3月14日まで提供しました。

(エ) キャンペーン実施

- ① ドロップイン利用の学生無料(利用者28名)
- ② ドロップイン利用者へのあま咲きコイン発行キャンペーン(1名350pt付与)

(3) 尼崎市産学公連携推進ネットワークへの参画

市内中小企業の技術力や製品開発力の向上を支援するため、産・学・官の情報共有ネットワークを活用し、課題の抽出、解決策の検討・提案等を行い、市内企業と大学との連携による地域・産業の活性化への取組を促進しました。

(4) オープンイノベーションコア尼崎事業

ものづくり総合支援、スタートアップ発掘の拠点として尼崎市や金融機関、産業団体による「オール尼崎」での運営体制で、スタートアップ企業と市内企業との共創によるイノベーション創出をはじめとした支援の実施について、当機構が事務局として運営しました。

ア 企業への訪問 71社

- (ア) OIC運営会議メンバーの各団体から訪問候補企業のリスト化・企業に対する支援を実施しました。
- (イ) 各種イベントや産業団体から随時引き合わせのあった企業のマッチングを行いました。

イ 支援機関、金融機関等との連携 41機関

- (ア) 企業間の連携や経営上の相談、財務的な支援、後継者等人材の課題を解決するにあたり、協力が得られる支援機関との関係構築のため、ひょうご産業活性化センターやNIRO、中小機構等を訪問し、連携体制を構築しました。
- (イ) ベンチャー企業やスタートアップ企業の支援を行っていくにあたって、資金面や情報面での連携が必要なベンチャーキャピタル、金融機関との意見交換を実施しました。

ウ 大学への打診 8大学

- (ア) 大学発ベンチャーの活動の場として、尼崎を選ぶにあたっての条件等を確認しました。
- (イ) 大学の研究者と地域企業との連携の可能性を探るとともに、実際に企業の課題案件を投げかけ、解決に繋げました。
- (ウ) これまでの産学連携案件からみた今後の可能性について打診しました。

エ その他イベント等 57件

- (ア) オープンイノベーションコア尼崎の取組を広く知ってもらい、活用してもらうため、意欲ある企業等が集まるイベントや会合に出向き、交流、情報収集につなげました。
- (イ) 各イベントに出展している企業の新技術、新製品を通じた交流から、OICの取組紹介と、次の訪問機会を得て、より詳細なヒアリングに繋げました。

(5) あまがさき産業フェアの開催

産業支援機関や尼崎市、尼崎信用金庫、経済団体推薦企業と共同で、企業が保有する技術・製品を広域的に紹介し企業間のビジネスマッチングを促進するため、「あまがさき産業フェア2024」を開催しました。なお、実行委員会では、機構が事務局としての役割を担いました。

ア キャッチフレーズ 会いたくなる技術がいっぱい！あまがさき

イ 開催日時 11月21日 10:00～17:00、22日10:00～16:00

ウ 開催場所 バイコム総合体育館(尼崎市記念公園)

エ 来場者数 2,072人(21日:1,198人、22日:874人)

オンライン展示会 20,131人

オ 事業内容及び実績

(ア) 産業製品展示会

出展者及び小間数 164社・団体(178小間)

(イ) 市内工業系高等学校・専門学校生徒の作品展示

出展校 4校

(ウ) 障害者支援機関の活動内容の紹介

出展団体 1団体

(エ) 講演会

① テーマ 実家は町工場！モノづくりとネタ作りの二刀流芸人が語る「ムダ工作」

- ・ 講演者 モンスターエンジン 西森 洋一 氏
- ・ 開催日 11月22日 10:30～
- ・ 開催場所 2Fエントランスホール
- ・ 参加人数 200人

② テーマ 未来社会への挑戦～日本初の次世代モビリティ『空飛ぶタクシー』事業への参入

- ・ 講演者 そらとぶタクシー株式会社 代表取締役社長 寶上 卓音 氏
- ・ 開催日 11月22日 11:20～
- ・ 開催場所 2Fエントランスホール
- ・ 参加人数 50人

③ テーマ Youtuberとして見るものづくりの魅力

- ・ 講演者 工業系ユーチューバー「なんとか重工」
- ・ 開催日 11月22日 13:30～
- ・ 開催場所 2Fエントランスホール
- ・ 参加人数 80人

(オ) 製造業対抗ミニ四駆大会第1回あまがさき産業フェアカップ

- ① 開催日 11月21日 13:00～16:30
- ② 開催場所 B1研修室
- ③ エントリー 14社・団体 17チーム
- ④ 参加人数 120人
- ⑤ 協力事業者 ザ・クラフターズ

(カ) 全日本製造業コマ大戦 第8回あまがさき産業フェア特別場所

- ① 開催日 11月22日
- ② エントリー企業 8社・団体 15チーム
- ③ 参加人数 90人
- ④ 優勝 (株)吉川製作所(出雲市)
- 準優勝 なんとか重工

(キ) 出展者プレゼンテーション

- ① 開催日 11月21日、22日
- ② 発表企業 29社・団体
- ③ 参加人数 250人

(ク) ビジネスマッチング会(大手企業)

- ① 開催日 21日10:30～17:00、22日10:30～16:00
- ② 開催場所 B会場
- ③ 参加大手企業 33社(工業系:24社、商業系:9社)
- ④ 商談数 130件

(ケ) ビジネスマッチング会(出展企業)

- ① 開催日 会期中終日
- ② 開催場所 A・B会場

- ③ 商談数 39件
- (コ) 相談コーナーの設置
- ① 開催日 会期中終日
- ② 相談件数 449件
- ③ 兵庫県よろず支援拠点
経営に関するよろず相談 69件
- ④ INPIT兵庫県知財総合支援窓口
知財を活かした経営課題解決に関する相談 13件
- ⑤ 兵庫県事業承継・引継ぎ支援センター
事業承継に関する相談 74件
- ⑥ 兵庫働き方改革推進支援センター
助成金・ハラスメント等に関する相談 92件
- ⑦ 経営支援NPOクラブ
販路開拓や経営に関する相談 27件
- ⑧ JICA独立行政法人国際協力機構
企業の「海外への想い」に関する相談 56件
- ⑨ 省エネプラットフォーム協会
エネルギーの使用の合理化等に関する相談 11件
- ⑩ ものづくりビジネスセンター(MOBIO)
ものづくりパートナーのご紹介 107件
- (サ) 出展者交流会
- ① 開催日 11月21日
- ② 参加者 23社・団体 85人
- (シ) オンライン展示会
- ① 開催日 10月1日10:00～11月22日17:00
- ② 訪問者 20,131人(閲覧数 延べ194,731回)
- (6) 地域商社アイル事業の展開
- 中小企業や創業間もないスタートアップ企業、ベンチャー企業等を対象に、株式会社モノタロウ等と連携し、販路開拓支援や新たな商品開発支援等を行なうことを目指し、事業周知に向けた広報に注力するとともに、新たな連携先の開拓にも努めました。
- (7) 尼崎倶楽部の運営
- 尼崎産業界の活性化や人的交流を図るため、市内の中小企業等の会員組織である「尼崎倶楽部」を、機構が事務局として運営を行いました。
- ア 総会・理事会・常任理事会
- (ア) 総会 1回
- (イ) 理事会 1回
- (ウ) 常任理事会 11回 ※8月は休会
- イ 朝食会
- (ア) 開催回数 11回
- (イ) 参加人数 延べ761人
- ウ 会員合計 191人
- (ア) 法人会員 20人
- (イ) 個人会員 89人

- (ウ) 特別会員 82人
- エ 情報交流事業
 - (ア) 会員交流会(総会后)
 - 参加人数 37人
 - (イ) ビアパーティ
 - 参加人数 150人
 - (ウ) 施設見学会(兵庫県津ミュージアムとその周辺歴史遺産)
 - 参加人数 10人
 - (エ) 芸術鑑賞会(桂米朝生誕百年没後十年記念)
 - 参加人数 8人
 - (オ) トピックスの発行 1回
 - (カ) キャリア形成・リスキング推進事業セミナー
 - 参加人数 5人

7 人材育成事業

企業の経営改善及び競争力の強化を図る人材育成を支援します。

(1) 減災対策支援事業(補助)

自然災害から従業員や設備・各種ネットワーク機能などを保護することで事業の中断を防ぎ、中小企業の安定・安全な事業環境の維持向上を目指す事業者を支援するため、アドバイザー派遣等を行いました。

ア 減災対策に係る専門家派遣

3社8回

(2) パソコン教室

中小企業等の情報処理能力向上を図るため、パソコン教室を開催しました。

ア 講座数 390講座

イ 受講者数 延べ1,604人

(3) コーディネーター等連携事業(補助)

市内事業所の安定した企業経営を継続することを目的にコーディネーター等を活用した販路開拓を実施しました。

ア コーディネーターによる事業所訪問 37社 74回

イ 支援実績 販路拡大55件 人材確保19件

8 商業活性化事業

大規模商業施設の立地、消費行動の多様化等、商業環境の大きな変化に対応する小売市場・商店街及び小売店舗等の経営改善の支援を行いました。

(1) 専門家派遣事業

活性化に向けて積極的に活動しようとする市内商業団体等に対し、専門家を派遣し、相談、指導等を行いました。

・派遣団体及び回数 8団体66回

9 尼崎市業務受託事業(尼崎市産業振興事務委託)

尼崎市が行う産業振興施策を効果的、効率的に推進するため、相談・指導や補助金交付申請などの受付業務を行いました。

(1) 労働環境実態事業

市内事業所における労働環境等の実態を把握し、労働環境の改善、雇用の促進等

を図るための基礎資料としました。

ア 時期 令和6年9月(令和6年5月時点について回答)

イ 対象 尼崎市内の従業者30人以上の全事業所 1,105件

ウ 方法 郵送によるアンケート調査(回収はWEB、E-mail、郵送等による)

エ 内容 労働条件、賃金制度、人材の確保・育成、女性従業員の活用、高年齢者雇用安定法への対応、LGBTQ従業員への対応、外国人雇用、障害者雇用、労働環境の改善、など

オ 結果 尼崎市ホームページに掲載。「尼崎経済データブック」で結果の一部を紹介。

(2) 中小企業減災対策支援事業

ア 尼崎市、関西大学社会安全学部永松ゼミ及びサンモール武庫元町商店街との産学官連携の取組による「防災スタンプラリー」の実施

(ア) 開催日時 12月21日 10:00~15:00

(イ) 開催場所 サンモール武庫元町商店街

(ウ) イベント内容 近隣在住の小学生及び商店街利用者等を対象に、被災者エピソード等を掲載したスタンプ台紙を活用した「防災スタンプラリー」を実施し、スタンプラリー達成者は商店街で利用できる商品券が当たる抽選会を実施した。

(エ) イベント参加者 102名

イ 「尼崎市減災対策啓発セミナー」の開催

(ア) 日 時 3月21日 14:30~16:30

(イ) 場 所 尼崎市中心企業センター402会議室

(ウ) 参加者 30人

(3) 産業功労者表彰事業及びものづくり達人顕彰事業

ア 産業功労者等表彰事業

(ア) 表彰式 1月24日

(イ) 受賞者 4名

イ ものづくり達人顕彰

(ア) 懇話会 11月7日

(イ) 表彰式 1月24日

(ウ) 受賞者 4名

ウ 永年勤続勤労者表彰事業

(ア) 表彰式 11月5日

(イ) 受賞者 23名

エ 優良勤労者表彰事業

(ア) 表彰式 11月5日

(イ) 受賞者 32名

(4) 商業活性化対策事業

ア 商業活動相談指導業務 112件

イ 空店舗活用支援事業 2件(新規 0件、継続 2件)

ウ 魅力向上支援事業 6件

エ 共同施設建設費助成事業 4件

(5) 市場・商店街等安全・安心事業

ア 商業活動相談指導業務(安全・安心分) 17件

イ 共同施設撤去支援事業 1件

(6) 事業所景況調査事業

市内事業所の景況等を把握し、時宜にかなった対応措置を講じるため、「景気動向調査」(年4回)を実施し、情報発信を行いました。

ア 時期: 4～6月期、7～9月期、10～12月期、1～3月期

イ 対象: 尼崎市内の事業所1,000件(全産業)

ウ 方法: 郵送によるアンケート調査。回答はWEB、郵送で回収。

エ 内容: 業況、出荷額・売上高、収益、資金繰り、売上・客単価、仕入価格、従業員の過不足、経営課題、設備投資

オ 結果: 機構ホームページに掲載。概要版を調査対象事業所へ送付するほか、尼崎市中小企業センター1階電光掲示板に掲載。

(7) SDGs企業登録事業

ア 相談: 46件

イ パートナー登録

(ア) 新規申請 9件

(イ) 更新申請 32件

ウ リーディングパートナー登録

(ア) 新規申請 1件

(イ) 更新申請 1件

エ 学習支援補助 3校

オ パートナーミーティング&交流会&勉強会 1回実施

テーマ:「ボードゲームdeカーボンニュートラル」脱炭素研修セミナー

(ア) 実施日 3月17日

(イ) 実施場所 尼崎市中小企業センター401会議室

(ウ) 参加数 24名

(8) 中小企業資金融資関係事業

ア 金融相談 494件

イ 窓口相談件数 416件

ウ 電話相談件数 78件

エ 認定書受付件数 416件

(9) 外国人材雇用促進事業

ア 尼崎市国際化支援コンソーシアム 8月22日、2月27日

イ 外国人材・育成・定着支援モデル事業所認定制度 10件

ウ 外国人材雇用促進支援補助金 3件

エ 支援制度活用セミナー 11社12人

(10) 産業・雇用就労オンラインシステム関係事業

事業所サイト登録支援、試験研究機関照会・登録

ア 新規・変更等問合せ 11件

イ 研究・試験期間の登録 60件

(11) 脱炭素化設備等導入促進支援事業

ア 脱炭素アドバイザー派遣事業 30件

イ 脱炭素化設備等導入促進支援事業補助金 23件

ウ 尼崎市脱炭素経営宣言・認定事業 62件(すべてブロンズ認定)

エ オープンファクトリーイベント「あまがさきエリア モノづくりパビリオン」の実施

※内容は3 AG6(「ECO未来都市・尼崎」宣言団体)間の連携に掲載

(12) 尼崎市スキルアップ支援補助金

- ア 受付件数 22件
- イ 電話等相談 305件
- (13) 尼崎市省力化・生産性向上設備導入支援補助金事業
 - ア 受付件数 54件
 - イ 電話等相談 664件
- (14) 経済活性化対策事業

大学や研究機関と市内企業との連携を促進する上で、基礎資料とするために、「大学及び高等専門学校の産学官連携に関わる意向調査」を実施しました。

 - ア 時期 令和6年12月
 - イ 対象 全国の大学・高等専門学校の産学連携担当 857件
(文部科学省「大学・短期大学・高等専門学校・法人一覧」による)
 - ウ 方法 郵送によるアンケート調査(回収は WEB、E-mail、郵送等による)
 - エ 内容 産学連携の状況、研究・技術シーズの活用とその支援体制、尼崎市内企業との連携の状況、尼崎市の企業支援や OIC の取組み等に対する関心など
 - オ 結果 機構ホームページに掲載

10 日本中小企業学会事務

外部の学術機関との連携を図り、中小企業研究及びその情報収集に努めました。

- (1) ニュースレターの配信 年24回発行
- (2) 会報の配信 年2回 8月、1月
- (3) WEB サイト記事更新 年24回更新
- (4) 選挙事務補佐

11 尼崎市中小企業センターの管理運営

安全・安心・快適な施設とするために、施設、設備の経年劣化や美観の維持に対応しました。利用を促進するため利用形態の見直し等を行い、新規客の獲得に努めました。また、新たな収入源と利用者のサービス向上のため宅配便の取次を開始しました。

- (1) 会館利用状況(括弧内は令和5年度)
 - ア 利用件数
 - (ア) 会館 4,206件(4,390件)
 - (イ) 駐車場 16,685台(16,357台)
 - イ 会館利用率
 - (ア) 全体 26.1%(27.2%)
 - (イ) ホール 44.2%(45.0%)
- (2) 電子看板広告
 - 企業・団体数 2団体
- (3) 中小企業センターの施設・設備の改善等

施設、設備の経年劣化や美観の維持に対応するため、設備改修、備品等の更新を進めました。

 - ア 設備の更新等
 - (ア) 1階廊下クロス貼替・床面シート貼替、
応接室建具シート貼り・建具枠塗装
 - (イ) 5階南系統ビルマルチエアコン圧縮機他取替え
 - (ウ) 5階南系統室内機ドレンパン洗浄
 - (エ) 屋上チラー(2号機)スクリーン圧縮機整備

- (オ) 6階南系統空調機電気部品取替え
- (カ) 駐車場精算機新紙幣識別装置取付
- (キ) 4階会議室・5階研修室LED照明化更新

イ 備品関係

ホール舞台(30cm)×6台の更新

(4) テナント会の運営

ア 防災訓練の実施 第1回 5月31日

第2回 11月 5日

イ AED講習会 12月20日

ウ テナント会議 7月10日

(ア) 令和5年度事業報告・収支決算報告

(イ) 令和6年度事業計画・収支予算案承認

12 尼崎市中小企業勤労者福祉共済事業(ハートフル)

提供する福利厚生サービスを改善・充実させ、会員の満足度の向上に努めるとともに、広くサービスをPRしました。

(1) 加入状況

ア 事業所数 586社(令和5年度 617社)

イ 会員数 6,234人(令和5年度 6,466人)

(2) 福利事業

健康増進やレクリエーション活動等を通じて、従業員の福利厚生の充実を応援しました。また、インターネットやコンビニでの取扱い及び多種多様なサービスを提供しました。

ア 健康づくり支援事業

会員に対して事業所健診や人間ドックの利用あっせん及びこれらと予防接種の費用の一部補助を行うとともに、会員及びその家族に対してスポーツ施設の利用支援や家庭常備薬の斡旋など健康づくりに資する事業を実施しました。

事業内容	受診者数	備 考
事業所健診	851人	会員のみ
人間ドック	202人	会員のみ
スポーツ施設利用支援	586人	会員・家族：ハーティ21、 サンシビック (屋内プール・スポーツジム等利用)
予防接種費用補助	1,609人	インフルエンザ

イ 余暇活動支援事業

会員とその家族に対して、提携している観劇、遊園地、映画鑑賞、温泉施設、プロ野球観戦の利用補助や斡旋を行うとともに、旅行や指定宿泊施設の利用補助を行い、余暇活動の充実を図りました。

(ア) レジャー施設入場券等の利用補助

事業内容	販売枚数	備 考
バイキング利用補助	451人	期間：令和7年2月5日～3月20日
いちご狩り利用補助	693人	期間：令和7年2月5日～3月31日
ぶどう狩り利用補助	152人	期間：令和6年8月18日～9月16日

(イ) 旅行及び指定宿泊施設の利用補助

事業内容	利用者数
旅行補助	7人（会員4人・家族3人）
還暦旅行利用補助	2人（会員のみ）
指定宿舎利用補助	18人（会員8人・家族10人）
特別指定宿舎利用補助	6人（会員3人・家族3人）

(ウ) 観劇・遊園地等の利用補助または優待券の配付

事業内容	利用者数
観劇・鑑賞（宝塚大劇場、大阪松竹座 等）	508人
吉本興業直営劇場予約引換券	14人
遊園地入場券（神戸アンパンマン、東京ディズニー等）	598人
映画鑑賞券（塚口サンサン劇場等）	1, 107人
温泉施設（湯の華廊）	104人
こども商品券（トイカード）販売	634人
冬季イベント施設（六甲山スノーパーク）	138人
期間限定イベント（大阪・関西万博、サーカス）	165人
優待券（ジャンカラ、レオマワールド、神戸クルーズ）	事務局窓口配付

(エ) 野球・大相撲観戦補助（ペア）

事業内容	利用者数
阪神甲子園球場（アイビーシート）	372人（186組）
京セラD・ほっと神戸（アドバンスチケット）	34人（17組）
大相撲大阪三月場所（イスC席）	40人（20組）

(オ) クラブサークル活動補助

・硬式テニス部（13人）

ウ 提携施設等からの提供品の配付等

機関紙で募集のうえ、抽選

事業内容	当選者数
阪神タイガース キャップ&ピンバッジ	6人
阪神タイガース 保冷トートバック	6人
阪神タイガース 甲子園球場ジオラマ模型	6人
阪神タイガース チャンピオンリング	6人
よしもとNGK・祇園花月指定席予約引換券ペア券	10人
1CHIJYU いちご狩りペア券	3人
国立文楽劇場カレンダー	2人
東京ディズニーリゾートカレンダー	1人
宝塚スターカレンダー	1人

エ ハートブルクラブ

- (ア) 登録人数 1,962人(31.48%)
 (イ) アクセス数 119,467件(4月～3月)
 (ウ) 利用件数 12,825件(4月～3月)

(3) 給付事業

結婚祝金等6種類の給付を実施しました。

事業内容	件数
結婚祝金	52件
出産祝金	118件
死亡弔慰金	106件
傷病見舞金	28件
永年勤続慰労金	235件
災害見舞金（自然災害）	0件
計	539件

(4) 機関紙の発行

ア 共済事業の案内を記載した機関紙を発行し、事業のPRに努めました。

(ア) 機関紙「ハートフル」の発行 毎月1回

(イ) 主な掲載内容 最新の事業内容や各種イベントなど催しの案内

イ 提携業者等のチラシ同封 12件

(5) 会員の拡大、加入促進

共済事業の安定的な運営を図るため、会員の拡大に努めました。

ア 共済ニュースによるPR

イ 中小企業センター電子看板によるPR

ウ 関係団体による催し・会議・会報誌などにおけるPR

エ 事業所訪問によるPR

・訪問数 15事業所

13 CSR(社会貢献)活動

尼崎21世紀の森への間伐活動や、尼崎市中小企業センター周辺及び庄下川の清掃活動等地域に密着した社会貢献活動に積極的に協力しました。

14 組織運営等について

当機構が、今後も尼崎市の政策パートナーとしての役割を果たしていくために必要な組織力・専門性の維持・向上を図るため、機構職員の資質向上を目的に以下の取り組みを行いました。

(1) 実践研修・実践力判断試験の受講

業務の効率化・合理化に対応し効果的な中小企業支援を推進するため、職員を実践研修・実践力判断試験を受講させました。

(2) チャレンジワークの取り組み

職員自らの課題解決への取り組み姿勢や、資質向上への意識の醸成を図るため、昨年度に引き続き既存組織の枠を超えて構成したチームをつくり、自由に課題検討を行わせ、課題解決に向けた方向性や、取り組みのヒント等の気づきを探らせました。

事業報告の付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。